

2013・12

PRESS RELEASE

現代美術個展のご案内

## 木戸 龍介展

- スイッチ 押すの 押さないの どっちなの -

会期：2014年1月7日(火)～2014年1月28日(火)

会場：LIXILギャラリー



Ash-Eternal Dream- /  
2012 / お香 / 実物大

本リリースに関するお問い合わせ先

LIXIL ギャラリー ( <http://www1.lixil.co.jp/gallery/> )

所在地：東京都中央区京橋3-6-18 東京建物京橋ビル LIXIL：GINZA 2F

広報担当：大橋 恵美

TEL . 03 5250 6530



<http://www1.lixil.co.jp/gallery/>

「現代美術作家の表現の場」である LIXIL ギャラリーの現代美術個展ギャラリーでは、2014年1月7日(火)~2014年1月28日(火)の期間、「木戸 龍介展 - スイッチ 押すの 押さないの どっちなの -」を開催します。

木戸 龍介はこれまで水や炎といった常にかたちが変わるものを、半永久的な素材(大理石、木材、金属)を細密に彫刻することでとらえ、現代社会で安易に知り得ていることがいかに不正確であるかを再考してきました。

本展では、これまで使用していた楠や大理石の素材をお香に変え、2012年より始まった新シリーズ「Ash」から、お香で制作した、現代人が最初に触れる造形パーツと考える LEGO®ブロックの都市とオンオフを象徴するスイッチによる新作インスタレーションを行います。目の前に起こるありふれた現象からもののあり方を見つめ直す、木戸の新たな試みです。

\*LEGO®はLEGO Group.の登録商標です。



Ash-Open Secret-2012 /  
お香 / 実物大

## 開催概要

「木戸 龍介 展 - スイッチ 押すの 押さないの どっちなの -」

会 期 2014年1月7日(火)~2014年1月28日(火)

アーティスト・トーク 日時:2014年1月18日(土)18:00~19:00

休 館 日 水曜日

開館時間 10:00~18:00

企 画 株式会社 LIXIL

会 場 LIXIL ギャラリー

観 覧 料 無料

会場写真 <http://www1.lixil.co.jp/gallery/>

会期開始5日目から会場写真をご覧頂けます。

## 展覧会の見どころ

### 1. 新シリーズ「Ash」の発表

木戸 龍介は東京藝術大学大学院修士課程を修了後(2011)、トーキョーワンダーウォール2010入選、東京都現代美術館ブルームバーグ・パヴィリオン公募大賞受賞(2012)、2013年は海外レジデンスにて制作をしてきました。

木戸はこれまで水や炎といった常にかたちが変化するものを、半永久的な素材(大理石、木材、金属)を細密に彫刻することでとらえ、現代社会で安易に知り得ていることがいかに不正確であるかを再考してきました。本展では木戸がこれまで使用していた楠や大理石の素材をお香に変え、2012年より始まった新シリーズ「Ash」から、LEGO®ブロックの都市とオンオフを象徴するスイッチによる新作インスタレーションを発表します。

### 2. 香りに包まれて「選択」を考える仕掛け

会場にはカラフルなお香でつくられたLEGO®ブロックの都市が、香り高く美しい姿を見せる予定です。しかしその都市はお香でつくられているがために燃焼して灰になるという姿を連想させます。またオン・オフを象徴するスイッチには、お香、灰とさまざまな状態があり、それぞれに「Love」「Art」「war」などの言葉がつけられます。言葉に導かれスイッチを押すという選択は、灰のスイッチを押してしまえば、そのかたちはもう元には戻らないことを容易に想像させ、私たちに選択の再考を促します。

### 3. お香は私たち自身

お香の作品が燃えて灰になるとき、それは酸素を使い酸化するということでもあります。そう考えたとき、お香は呼吸する私達自身でもあるように感じられます。呼吸をし、姿を変え、煙や灰のように最後は自然に戻っていく。スイッチもまた、私たちが常に選択の中で日々を過ごしていることを思い出させます。「押すの 押さないの どっちなの」その結果が今であり、やがて人生や世界になっていくことを木戸は語りかけています。

## 作者略歴

木戸 龍介 (Kido Ryusuke)

1984年 東京都生まれ

2009年 多摩美術大学美術学部彫刻学科卒業

2011年 東京芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修士課程修了

### 展覧会歴

2013年 アーティストインレジデンス Saari residence (フィンランド)

TO. BE(tokyoberlin)(シフノス島、ギリシャ)

White House Biennial(アテネ、ギリシャ)

The Third International Stone Sculpture Colony(デニズリ、トルコ)

Time Remapping with Wit Pimkanchanapong(100Tonson Gallery、バンコク、タイ)

- MAP (Tokyo Wonder Site Berlin in Kunstraum Bethanien, ベルリン、ドイツ)
- 2012 年 LIDINOS FOR SYRIA (Aegina, ギリシャ)  
I Think I Can, I Think I Can (Casa Matei Gallery, Cluj Napoca, ルーマニア)  
個展 ブルームバーグ・パヴィリオン公募大賞受賞者展「Inner Light」(東京都現代美術館)
- Hydra School Project (Hyra, ギリシャ)
- TWS レジデンス成果報告展「YOKYO STORY」(トーキョーワンダーサイト本郷)
- 2011 年 アーティストインレジデンス Tokyo Wonder Site  
(10月~3月 トーキョーワンダーサイト青山滞在)  
個展 TWS-EMERGING2011(トーキョーワンダーサイト本郷)  
第59回東京藝術大学卒業・修了制作展(東京藝術大学美術館)
- 2010 年 プリュス トウキョウ・コンテンポラリーアートフェア  
日韓石彫交流展「STONE ROAD」(上野の森美術館ギャラリー)  
トーキョーワンダーウォール2010 入選展(東京都現代美術館)
- 2009 年 「アトリエの未裔あるいは未来」展(旧平櫛田中邸)  
NHK 連続テレビ小説「つばさ」記念碑設置(川越/鏡山酒造跡地)  
越後妻有トリエンナーレ「克雪ダイナモアートプロジェクト」  
東京五美術大学連合卒業・修了制作展(国立新美術館)
- 2008 年 Art Program Ome2008「ポストシアター」(青梅市街)  
「第3回各務ヶ原市彫刻のある街づくり」優秀作品選出  
ギャラリー1/3 個展 「みずのかたち」  
ギャラリー1/3 企画グループ展(5月、6月、7月、10月、11月)
- 2007 年 多摩美術大学彫刻学科八王子展(八王子/いちょうホール)